

資料

新潟県がん診療連携協議会 提案議題と各病院の回答

委員名：がんセンター新潟病院 佐藤信昭

提 案 議 題 2

がん教育への関わり

提案趣旨及び提案施設の状況

新潟県がん教育推進協議会（新潟県教育庁）が平成 28 年 10 月 3 日開催される。新潟県における「がん教育」の課題と今後の展開に向けた方策について、協議する予定である。

各施設でがん教育に関してこれまでの実績等をお知らせいただきたい。

また、がん診療連携拠点病院としての参加施設から県における「がん教育」への協力をお願いしたい。

（例、小中学校でのがんの授業の講師、教員に対する「がん」に関する教育への人員派遣など）

当院では、今年度 5 月、中学校で生徒対象のがん予防等についての講演会で講師を務めた。

回 答

【 回答病院名 】 新潟大学医歯学総合病院

ご提案の議題「がん教育への関わり」について、当院として今まで取り組みはしておりません。

【 回答病院名 】 新潟市民病院

当院でのがん教育の実績は、とりたてて「がん」としては行っていませんが、今年 8 月別添のような中学生セミナーを行いました。市内中学生 12 人を対象に 呼吸器内科担当領域としてがん、禁煙の話、気管支鏡検査実演・実習などを行いました。

【 回答病院名 】 長岡赤十字病院

学校にでむいた教育などは実施していない。

生徒が施設見学や看護師の体験などに来られた際に、がん予防に関連するお話をすることがある。

今後の協力として、学校などでの講演会の講師を受けることはできるが、相手の理解度や背景（家族ががんになり聞きたくない子どももいる）などの配慮を考えると、「命の授業」などの中で「がん」を取り上げてもらうのがよいのではないかと。その教員への支援を行うこともよいのではないかと。（平成 28 年度日本臨床腫瘍学会シンポジウムでの提案）

【 回答病院名 】 長岡中央総合病院

長岡市では今年度から中学 2 年生のピロリ検診を開始した。それに先立って、親に対して胃がんとピロリについての関連を話す機会を設けている。

更に検診の事後指導として、本人・親に対して胃がん予防の啓蒙活動を行っている。

今後は更に小中学校での「がん」に関する教育への講師派遣等協力していく。

【 回答病院名 】 県立中央病院

当院では、大学のがん教育に関しては協力しているが、小学・中学・高校に対しての教育・啓発は行っていない。

【 回答病院名 】 新潟労災病院

当院では、市民の皆さまに対して医師・看護師等により「がん」に関する講演を開催していますが、小学・中学・高校を対象としたがん教育の実績はありません。

しかしながら、11月に中等教育学校の職場体験が予定されており、その際にごん専門看護師による「がん教育等」に関する話をする機会を設けることにしています。

今後はがん専門看護師については、講師派遣等について更に協力していく予定です。

【 回答病院名 】 新発田病院

昨年度、病院から学校へ出向いての講演はありませんでした。

がん予防についての取り組みとしては、病院ホームページで文部科学省の作成したがん教育推進教材を閲覧できるようにしており、普及につとめる努力はしています。